

令和５年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立大信中学校長

令和５年４月１８日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は３年生で、国語、数学、英語の３教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下回って いる	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上回って いる
国語	６９．８％	○				
数学	５１．０％	○				
英語	４５．６％	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	67.5%		○			
情報の扱い方に関する事項	63.4%	○				
我が国の言語文化に関する事項	74.7%		○			
話すこと・聞くこと	82.2%	○				
書くこと	63.2%	○				
読むこと	63.7%	○				

【考 察】

- 「話すこと・聞くこと」の領域では、目的や場面に応じて質問する内容を検討する問題や、話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる問題が全国平均を下回りました。授業の中で、問題文や資料をよく読み、目的と場面に応じて伝え方を工夫する場を設定し、時と場に応じた表現を身に付けられるよう支援していきます。
- 「書くこと」の領域では、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる問題が全国平均を下回りました。問われていることを正確に把握し、適切な表現で記述できるように、文章を書く場を多く設定し、様々な表現方法を身に付けられるよう支援していきます。また、授業の中で文章を読み取り、意見と根拠の結びつきを意識しながら、自分の表現に生かしていく力が身に付くように継続して指導していきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	63.0%	○				
図 形	33.2%	○				
関 数	51.2%	○				
データの活用	48.5%					○

【考 察】

- 「数と式」の領域では、問題文に数学的用語が使われている問題や目的に応じて式を変形し事柄が成り立つ理由を説明する問題が全国平均を下回りました。今後は、授業で数学的用語を使用する場面を繰り返し設定して、数学的用語の意味を正確に理解させるとともに、根拠を明確にしながら説明することを意識させていきます。

- 「データの活用」の領域では、複数の集団のデータの分布の傾向を比較し、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題が全国平均を上回りました。「ヒストグラム」「箱ひげ図」から目的に応じたデータの収集や分析を行う場面を設定することで、解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力をさらに高めていきます。

【英語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
聞くこと	58.4%	○				
読むこと	51.2%	○				
書くこと	23.4%	○				

【考 察】

- 「読むこと」の領域では、ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する問題が全国平均を下回りました。情報を正確に読み取ることには課題があります。複数の情報の中から、内容を把握し、適切な情報を読み取ることができるよう継続して指導していきます。また、授業の中で、問題文や資料をよく読み、目的と相手に応じて伝え方を工夫する場を設定し、時と場に応じた表現を身に付けられるよう支援していきます。
- 「書くこと」の領域では、与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして会話が成り立つように英文を完成させることに課題がありました。基礎的な文法事項を再確認し、会話文の中で適切な表現を使うことを意識させながら学習を進めていきます。